

トキ 野生復帰にむけて

76



出雲市で分散飼育開始

鳥インフルエンザ発生を受けて延期されていた島根県出雲市へのトキ移送について、1月21日佐渡トキ保護センターを出発し、約980kmの陸路を経て、22日出雲市トキ分散飼育センターへ到着、国内で3か所目となる分散飼育が始まりました。

移送された2ペア4羽のトキはいずれも元気で、落ち着いた様子です。また、佐渡市から餌となる養殖ドジョウ3kgが贈られました。

トキの繁殖期間は

観察を控えましょう

3月から6月はトキの繁殖期です。繁殖期間中のトキは、とても神経質になります。人が巣に近づいたりしてストレスを感じると、巣づくりや子育てをやめてしまうことがあります。人が巣に近づいてしまうと、親のトキが巣から去ってしまい、その間に他の鳥などが巣に入り、卵やヒナを食べたりすることがあります。また、カラスや猛禽類などの生きものが人間の動きを見て、トキの巣を見つけてしまうこともあります。

繁殖期間中は、トキの営巣場所付近への立ち入りはご遠慮ください。よろしくお願いいたします。

繁殖が成功すれば、トキの親子が元気に佐渡の空を羽ばたく姿が見られることでしょう。



トキとの共生ルール

- ① 優しく静かに見守りましょう。
 - ② トキに餌づけをしないようにしましょう。
 - ③ トキを観察するときには地域に迷惑をかけないようにしましょう。
 - ④ 繁殖期間は、トキの巣に近づかないようにしましょう。
- ただし、農林業等に従事されている方は、田んぼ等で作業中にトキが近くにいるても特別な配慮は必要ありません。

◆ 市役所農林水産課生物多様性推進室
トキ政策係（第2庁舎）

☎ 63-3761



世界遺産登録に向けて

鶴子銀山跡が 国史跡に指定されました！

平成23年2月7日、鶴子銀山跡が国史跡佐渡金山遺跡に追加指定され、史跡の名称も「佐渡金銀山遺跡」に変更となりました。

鶴子銀山跡は、天文11年（1542）から採掘が始まり、江戸時代に佐渡金銀山の中心となった相川金銀山に先行して開発された銀山の遺構群です。銀山跡には、戦国時代から昭和21年（1946）の閉山に至るまでの採掘跡が今でも無数に残されており、佐渡の鉱山採掘システムの変遷を見ることが出来ます。また、鶴子銀山の山師が相川金銀山の発見

に関与したとの伝承があるなど、鶴子銀山の繁栄が相川における金銀山開発の端緒となったことが明らかです。

今回の国史跡「佐渡金銀山遺跡」への追加指定は、鶴子銀山跡が相川金銀山の開発の契機となった佐渡の鉱山史の中でも重要な遺跡であり、戦国時代後期から近代にかけての採掘跡をはじめとする遺構が現在も良好に残されていることが評価されたものです。

市では、平成23年5月から、昨年に引き続き、鶴子銀山跡に関する遺跡の一つ、「鶴子鉱山代官屋敷跡」の発掘調査を実施し、製錬に関係する遺構などをさらに詳細に調査していきます。調査成果は、今後も広報や現地説明会等でお知らせしていく予定です。

◆ 市役所世界遺産推進課
（金井コミュニティセンター内）
☎ 63-5136



鶴子銀山遠景



大滝地区の間歩跡



鶴子鉱山 代官屋敷跡